

小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成25年11月26日(火) 午後7時05分～午後7時40分
場 所 小田原市役所 601会議室

2 出席した教育委員の氏名

- 1番委員 山田浩子(教育委員長職務代理者)
2番委員 栢沼行雄(教育長)
3番委員 萩原美由紀
4番委員 和田重宏(教育委員長)
5番委員 山口潤

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

- | | |
|-----------|-------|
| 教育部長 | 関野憲司 |
| 教育部副部長 | 露木幹也 |
| 教育部管理監 | 松本弘二 |
| 教育総務課長 | 柏木敏幸 |
| 教育指導課長 | 栢畑寿一朗 |
| 教育指導課副課長 | 吉田文幸 |
| 教育総務課施設係長 | 栢原雄一 |
| 教育指導課主任 | 渡邊法子 |

(事務局)

- | | |
|-----------|------|
| 教育総務課総務係長 | 濱野光利 |
| 教育総務課主査 | 小林隆 |

4 議事日程

- 日程第1 報告第12号 事務の臨時代理の報告(平成25年度12月補正予算)
について (教育総務課)

5 報告事項

- (1) 平成26年度公立幼稚園新入園児応募状況について (教育指導課)

6 議事等の概要

- (1) 委員長開会宣言
(2) 10月定例会の会議録承認…山口委員報告
(3) 会議録署名委員の決定…山田委員、栢沼委員に決定

(4) 日程第1 報告第12号 事務の臨時代理の報告（平成25年度12月補正予算）について
（教育総務課）

提案理由説明…教育長、教育総務課長

栢沼教育長…それでは、報告第12号「事務の臨時代理の報告（平成25年度12月補正予算）について」を御説明申し上げます。市議会12月定例会に係る教育委員会関係の補正予算案について、市長に対し意見の申し出をいたしました。これは、小田原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項に基づく付議事項でございますが、急施を要し、会議を開くことができなかつたため、同規則第4条第1項により、事務を臨時に代理させていただきました。ついては、同条第2項の規定より御報告するものでございます。細部につきましては、所管から御説明申し上げます。

教育総務課長…それでは、私から報告第12号「事務の臨時代理の報告（平成25年度12月補正予算）について」の細部説明をさせていただきます。恐れ入りますが、12月補正予算要求概要をご覧頂きたいと存じます。歳入につきましては、歳出と合わせて説明させていただきます。それでは、歳出案をご覧頂きたいと存じます。一段目、(項)小学校費(目)学校管理費 小学校教育環境整備経費、それから、(項)中学校費(目)学校管理費 中学校教育環境整備経費、それぞれ学校教材等整備・管理事業でございますが、今年10月に匿名の方から地域の小中学校の図書購入費として40万円を御寄付頂きましたので、これを財源に小学校3校、下府小学校、酒匂小学校及び富士見小学校、それから中学校1校、酒匂中学校における図書購入費として計上したものでございます。なお、この寄付者の方からは、今回で4回目の寄付を頂戴しております。

続きまして、歳出中段の(項)小学校費(目)学校建設費 小学校教育環境整備経費 学校施設建設事業につきましては、こちらに書いてありますとおり町田小学校屋内運動場初度調弁費といたしまして、年度内に完成予定の町田小学校屋内運動場において使用いたします備品消耗品といった初度調弁に係る費用を計上いたしましたものでございます。具体的には、移動式階段、児童及び保護者用のパイプ椅子、スリッパ、掃除用具一式といった什器類、跳び箱、マット、平均台、バレーボール用の支柱、ネット、アンテナといった運動用具類、それから市旗、国旗、消火器といったものから構成されております。こちら974万円を計上したものでございます。以上で報告第12号「事務の臨時代理の報告（平成25年度12月補正予算）について」の説明を終らせていただきます。

よろしくお願ひいたします。

(質 疑)

萩原委員…寄付して下さった方は、今回で4回目という事ですが、この地域の保護者とかOBとかの方ですか。

教育総務課長…この地域で開業されているお医者様です。

(その他質疑・意見なし)

(5) 報告事項(1) 平成26年度公立幼稚園新入園児応募状況について

(教育指導課)

教育指導課長…それでは、私から報告事項(1)「平成26年度公立幼稚園新入園児応募状況について」ご報告申し上げます。資料1をご覧ください。平成26年度公立幼稚園の4歳児定員は、6園の合計で385名となっております。その内訳は、酒匂幼稚園が105名、東富水幼稚園と下中幼稚園、矢作幼稚園が各70名、前羽幼稚園と報徳幼稚園が各35名となっております。各園とも去る11月1日と2日の二日間で入園願書の受付を行いました。その結果、入園申込者Cは、酒匂幼稚園が45名、東富水幼稚園が43名、前羽幼稚園が12名、下中幼稚園が16名、矢作幼稚園が56名、報徳幼稚園が33名、計205名となっております。11月2日現在におけるB欄の区域内幼児に対するC欄の入園申込者の割合を示す入園率は合計で26.1%です。また、A欄の総定員に対するE欄の平成26年度園児見込み総数の割合は、総定員数に対する割合の欄にあるとおり60%となっております。なお、資料にはありませんが、4歳児定員に対するC欄の入園申込者の割合は、53%となっております。

この後でございますが、各園とも定員に達しておりませんので、追加申し込みを受け付けることとなります。以上で報告事項(1)「平成26年度公立幼稚園新入園児応募状況について」の説明を終わります。

(質 疑)

萩原委員…園児がなかなか集まらない状況なのですが、こういう場合、例えば、少ないままスタートするならば、先生方が減るとかということになってくるのですか。

教育指導課副課長…定員には達しない人数ではございますが、1クラス35人以下という中では、クラスの増減はありませんので、現状の教職員の数で対応して参りたいと存じます。

教育部長…定員には、達していませんが、現行のところも定員割れしてございますので、教員の人数も現行のとおりという形で運用していくこととなります。

山田委員…いつも定員割れなのですが、園児の面倒を見る時間が短いと思います。どこかの幼稚園で長い時間、面倒を見る園があったかと思うのですが、どちらの幼稚園でしたでしょうか。

教育指導課副課長…通常、午後2時までの保育になりますけれども、酒匂幼稚園につきましては、午後5時まで延長して3時間の延長保育を行っております。

山田委員…そうですね。それでも酒匂幼稚園は、園児の数がそれほど多いわけではないのですね。延長保育をしたことにより、応募人数が多くなったということはありますか。

教育指導課副課長…延長保育は、酒匂幼稚園で行っておりますが、対象は、酒匂幼稚園に就園している園児たちの中からということに限定されることになり、応募人数の増加にはつながっていません。

山田委員…幼稚園に何回か伺っておりますが、とつてもきめ細かく、丁寧な保育をしていられると思います。また、いろいろ心砕いてやっぺいらっしゃるので、すごくもったいない気がします。何かもっと、園児たちが増えたらと思いますので、預かり保育の時間が短いからという理由が多いのでしょうか。理由は何かお考えですか。

教育指導課副課長…本市の幼児教育は、当初より私立幼稚園が主導という形で取り組みが進んでまいりまして、その過程の中で、多少、子どもたちが増えてきたり、私立幼稚園を補完するという意味合いの中で、公立幼稚園を整備してきました。このため、地域が限定されていて、私立幼稚園との話し合いの結果、各園の通園の区域が設定されているということが考えられます。

和田委員長…全体としては、私立幼稚園と公立幼稚園の関係から言うと、やっぱり、私立幼稚園も園児の数が減っているのですか。

教育指導課副課長…小田原市内の私立幼稚園が10園ございますが、園によっては、定員を超えているところもありますが、定員割れをしている園もいくつかございます。

和田委員長…子供の数も減っていることもありますし、親が仕事に出る割合も増えていきますから、保育園の方に預けて、なるべく長い時間みてもらうことになっているのかも知れませんか。午後5時までということについての、

保護者からの希望の声はありますか。例えば、もっと長くやってほしいとか。保護者の声がなく需要がないとかの把握はしているのでしょうか。

教育指導課副課長…当初、延長保育を始める中で、「午後4時まで」ということでスタートしたのですが、保護者の意見もありまして、「午後5時までにする」ということで、延長したものでございます。その後ご要望とかご希望とかも特にございませんので、現状では「午後5時まで」ということでやっております。

教育総務課長…今、教育指導課副課長から話がありましたけれども、基本的に幼稚園教育は、保護者の保護に欠ける児童を預かる保育園とは趣旨が違います。例えば、送り迎え、登園降園すべて保護者の送り迎えの下で行いますので、従来の家庭は、内にお母さんがいる。または、おじいさんおばあさんがいるということで、午後2時まで保育で問題がなかったのですか、やはり社会状況が変わってきましたので、保護者の方からは、できるだけ長い時間預かっていただきたいとの声は確かに聞いております。酒匂幼稚園の方でも、定員割れはしておりますが、その中の定数を一応、各学年15名とのことで合計30名ということで延長保育をしておりますが、ほぼ、満たしております。空待ちという状況になっておりますので、他の園でも、もし、延長保育をするようになれば、そのニーズは高いものかと思っております。ただ、先ほど話がありましたように、私立幼稚園、保育園との関係から、公立保育園があまり拡大をしないでほしい、との申し入れがありますので、関係団体との連絡・調整をしながら、対応していきたいと思っております。

和田委員長…ただ、我々が現場を視察してみるとスペース的にゆったりしていますよね。

栢沼教育長…空き教室を有効利用されています。

教育総務課長…各教室の定員が35名となっておりますので、その基準で各教室を整備しております。矢作幼稚園と報徳幼稚園はほぼ、定員いっぱいですので、こちらの2園については、充足感があります。酒匂幼稚園は、1学年3クラスありますが、予定しているのが、1学年3クラスを予定しているが、全体で4クラスしかありませんでしたので、2クラス空き教室がある。なおかつ35人いる教室もあれば、一クラス25人のところもある。少ない方だと10数人となっておりますので、広いとなってしまいます。ですので、ゆったりした環境で保育ができます。

山 口 委 員…2点質問があります。一点目は、通園区域というのは、固定なのですか。より広い地域から集める予定はありませんか。2点目は、B欄の区

域内幼児の数が明らかに定員より少ない地域が、下中幼稚園と前羽幼稚園とかがありますけれども、それでもまだ、定員を35名、70名とや
っていくもりなのか、今後のことを伺いたい。

教育指導課副課長…まず一点目の区域のことですが、私立幼稚園との話し合い
の中で、現状では、区域を広げる考えはございませんが、一方で、子ども・子育て支援新制度が平成27年4月からスタートする予定なので、
そういったものを視野に入れながら公立幼稚園のあり方についても研究
していく必要もあると認識してございます。二点目の定員についてです
が、今申し上げましたとおり、新制度の中で、現在、子ども青少年部で
新制度に係るニーズ調査をしています。その結果、各地域ごとに色々
なニーズが出てくると思っておりますので、その結果を見ながら、検討
していきたいと思えます。

和田委員長…親にとって、幼稚園があまりメリットを感じないということの数字の表
れかもしれません。親にとっても一番のメリットは、経済的な問題だと思
うのですよ。私立幼稚園や他のところと比較して公立幼稚園の場合の
授業料というのか月謝というのか経済的な負担というのは、他のところ
とのバランスではどうなのでしょう。

教育指導課副課長…現在、公立幼稚園は、月々8,500円です。一方、私立幼稚園
に関しては、それぞれ園によって違いますが、1万数千円から2万円前
後でございます。ただ、私立幼稚園の場合は、保護者の経済的な負担を
軽減するために就園奨励費補助制度がございます。所得に応じてござ
いますが、その差は、埋めるようにしています。

(その他質疑・意見等なし)

(6) その他

教育総務課長…事務局からですが、今年度の教育委員会の事業の中で隔年実施して
おります研修視察についてのご提案をさせて頂きたいと存じます。これま
でも、行政課題に対して、教育委員の皆様は先進事例等を視察して頂い
ておりますが、昨年度は、隔年実施なので実施しなかったわけですが、
今年度は、テーマを探しまして事務局で候補地を選定させていただきました。
今回、教育長が新たになりまして、教育相談、教員の資質向上を
含めた教育センター的なものを一つに集約して、小田原市でも整備をし
たいというようなお考えがございますことから、すでにセンター化して
いる市町村を先進地事例として視察していただいたら、ということで、

教育指導課の担当主事などと相談をしたところ、小田原市とほぼ人口、予算規模が同等の東京都日野市の教育センターを視察先として市として選ばせていただきました。こちらの教育センターにつきましては、お手元に資料をお配りしておりますけれども、旧高幡台小学校の跡地を活用いたしまして、教育センターとして、整備されているところでございます。裏面に運営組織といたしまして、この教育センターの中に入っている組織などが記されております。研究部、研修部、相談部とありますが、小田原市での相談業務、あるいは、調査業務というところ、あるいは、教職員の研修業務を一本化してセンターという形にして業務として実施しておりますので、細かな実態等が参考になるかと思ひまして選ばせて頂きました。ご検討の程お願いいたします。

(質 疑)

萩原委員…大変、興味のあるところですね。センター化することもいいと思いますし、そこに行けば、なんでも相談できるという場所がはっきりした方がよろしいと思います。勉強させていただきたいと思います。

和田委員長…日野市に研修視察に行くのは、皆さん、よろしいですね。日野市の場合、小学校の跡地ですね。小田原市の場合だと、難しいですね。新築するにも大変だし、改修するにも大変ですし、ただ準備をすることに、早すぎることはないので、こういう視察を用意して頂いたので、勉強したいと思います。

(その他質疑・意見等なし)

(7) 委員長閉会宣言

平成25年12月26日

委 員 長

署名委員（山田委員）

署名委員（栢沼委員）